



「宇都宮大学の総合的多面的英語教育改革」により
2013年度大学英語教育学会賞(実践賞)受賞

宇大の英語 英語は宇大

どこよりも新しく どこよりも楽しい 英語の教育

2016



English Program of Utsunomiya University (EPUU = イープー)

EPUUの特徴 1

テーマは「浴びる英語」

授業以外ほとんど英語に接することのない普通の生活の中で、英語力を向上させるには、日々なるべく多くの時間、英語を「浴びる」必要があります。

EPUUには、EPUU Stationsと呼ばれる、「浴びる」ための施設が5種類7教室あり、学生が楽しく活用しています。

第1 CALL ラボ

最新のPC 語学
教育設備 36 席



第2 CALL ラボ

最新のPC 語学
教育設備 48 席



第3 CALL ラボ (自習室)

最新のPC 語学
教育設備 48 席



EPUU Stations

クリニック

ネイティブ教員から
1対1の個人指導を受ける施設



DVD ラボ

映画英語のDVD
1300 枚所蔵



Bulletin Boards

学生と教員との交流を目的とした掲示板を11箇所に設置



Reading ラボ

Graded Readers 9000
冊、趣味の本や専門の入門書 100 冊所蔵。司書は
Honors Student がアルバイトで行っている。



シアター

高級映画館仕様の
37 席 (+車椅子用 1 席)





EPUU君投書箱



"Dear EPUU-kun"



"We are your teachers!"

EPUUで勉強したことによる一番大きな成果は、「英語の勉強は楽しい」と心から思えるようになったことです。テストで良い点数を取るためだけに勉強した高校時代と違って、「使える英語」を学ぶためのEPUUは、本当に楽しかったのです。EPUU Stationsは、そんな学習方法を実践するための施設でした。

Reading ラボの本を読むのは大好きでした。毎週クラスメートの2倍も3倍も読んだと思います。特に後期は、2000頁以上読了しました。私のレベルのポートフォリオのグラフ上限は1500頁でしたが、それをはるかに超えました。「レベル0」の簡単な本を、手当たり次第読みまくって、読書の訓練をしました。その結果、他の教材の英語などを読んだ時に、「読める」と実感するようになりました。

DVDラボには、春休みの1ヶ月半毎日通いました。生活の中心をDVDラボにおくことになって、12時から開室する4時半迄勉強しました。大好きなフルハウスのシリーズは全て観ました。そのおかげで、リスニング能力も相当上がったと思います。

課題のe-Learningは、1年生全員330問中60問解くのがノルマでしたが、私は毎日頑張って330問全てを終わらせました。

入学から10ヶ月後、TOEICスコアは245点上がっていました。Honors Studentになる直前ですので、今年ももう少し頑張ってみようと思っています。



北條 応華

工学部建設学科2年
(群馬県立高土町高等学校卒)

僕はEPUU Stationsを活用し、入学後の10ヶ月間で、TOEICのスコアを270点伸ばしました。

積極的にスコアが上がった一番の理由は、CALLラボのPCに内蔵されている英語学習ソフトを活用したことだと思います。授業時間以外にも、CALLラボの自習室に頻りに通い、真剣に練習問題に取り組みました。更に自宅学習用に出された課題のe-Learningも頑張りました。

入学時に「将来的に英語を流暢に話せるになりたい!」と強く思ったので、授業中も授業外の学習でも、自分なりに目標をその一点に絞り、スピーキングの訓練をしました。例えばe-Learningでは、リスニングの練習問題を、授業で習ったshadowingの訓練をして口を動かしながら聴きました。授業の映画教材であるSchool of Rockを自習する時には、早口で聞き取りづらい箇所だけをピックアップして、自分でも真似して早口で何回も繰り返してみました。

クリニックは、通常の年4回の受講チャンスしかなかったのですが、とても楽しみで、有効に活用しました。毎回違う先生につき、男女の先生も入れ替えると、話題が変わるし、発音も変わるしで、より面白く楽しめました。1年次末のTOEICスコアが上がって、Outstanding Studentになりましたので、今年度は毎週クリニックを受講することが可能になりました。1対1の英会話を頑張れば、更に上手に英語がしゃべれるようになるかと期待しています。



山本 大稀

農学部生物資源学科2年
(群馬県立桐生高等学校卒)

EPUUで実際に英語を聴いたり話したりする機会が増えたため、1年終了時に予想外にTOEICリスニングのスコアが伸び、2年生からHonors Studentの仲間入りをすることができました。それまではReadingラボの司書のことを、「Honors Studentの中でも特別英語ができる学生になるもの」と思い込んでいました。でも、いざHonors Studentになれば、「私もやってみよう!」と強く思うようになって、自分から志願しました。英語はすごく好き、だからもっともっと実際に話せる場所が欲しい。司書になって英語オンリーの環境に身を置いたら、自分が変われると思ったのです。今は、シフトの交代時等に、もっと英語の上手な司書が本の貸し借り以外どう学生に話しかけるのかを見て勉強し、真似をしています。

ラボに来る人が実際にどの程度英語を話せるかについては、個々の学生によってかなり違います。さらさら話せる学生もいれば、片言の学生もいて、差が大きいと思います。でも、話せない学生は話せないなりに、一生懸命頑張って英語の決まり言葉を口にしていって、本を借りていきます。例えば単語を並べるだけで文章になっていなくても、とにかく英語だけで会話をしようとしてくれます。英語が得意で積極的に話す学生は、決まり言葉以外の会話を投げかけると、一言でも余分に答えを返そうとして、本気でトライしてきます。英語が上手になりたくて努力して頑張る気持ちが伝わってきて、自分も頑張れます。



栗原 万由香

国際学部国際文化学科2年
(栃木県立宇都宮女子高等学校卒)

EPUUの特徴 2

TESOL教員団

EPUU所属の教員は、英語ネイティブ教員と、英語圏の大学院でTESOL(英語を母語としない人への英語教授法)を修了した日本人教員のみ。

熱く燃えたプロ中のプロが、統一シラバス・統一教材を使用し、プログラムの集団運営をしています。

以下は1年生担当教員です。全1年生約1000名の学生評価は**4.74**(5点満点)を記録しています!

1年次のEPUUの必修授業は、週3回あります。2回は日本人の先生、1回はネイティブの先生です。私のクラスは、阿部先生とDooley先生でした。共通しているのは、どちらもものすごく厳しくてしっかり勉強させられたこと、そしてどちらもものすごく楽しくて、どんなに大変でも苦しいと感じなかったことです。これはEPUUの授業全ての共通点らしいです。

阿部先生は、ハワイで9年も勉強なさったそうで、とても流暢で綺麗な英語を話す素敵な先生でした。色々なアクティビティーが多くて、遊び心のある面白い授業でした。学生が興味を持って楽しく勉強できるように、沢山の工夫が凝らされていました。「アナと雪の女王」や「私を野球に連れてって(Take Me Out to the Ball Game)」等、英語の歌もたくさん聞きました。

Dooley先生の授業では、全員立たせて、先生の質問に英語で正しく答えないと座らせないということも、しばしばありました。English Onlyが徹底していて、一度座った後でも、日本語を口にするともた立たされてしまいます。「よっしゃー!」と思わず言った人が、立たされてしまったり... (笑) 課題のライティングも、一人一人とても細かく丁寧に添削してくださいました。

EPUUでは普通に授業を受けているだけで、リスニング力がかなり上がります。私は夏の「EPUU留学」に参加し、アメリカで貴重な体験をしたことから、後期は更に一生懸命勉強しました。その結果、10ヶ月でTOEICのスコアが260点上がり、Honors Studentになりました。嬉しかったです!



那知上 嘉海

教育学部学校教育学科3年
(福井県立金沢高等学校卒)



青野 香央里
California State University (博士)
アメリカ在住5年半



阿部 容子
University of Hawaii (博士)
アメリカ在住9年



蜂須賀 美帆
Purdue Theological Seminary (博士)
カナダ在住8年



峯 恵理菜
Azusa Pacific University (博士)
アメリカ在住2年



[コーディネーター]
江川 美知子
Southern Illinois University (博士)
Southern Illinois University (博士)
アメリカ在住7年半



[アシスタントコーディネーター]
佐々木 明子
Arizona State University (博士)
New Mexico State University (博士)
アメリカ在住17年



柿谷 命
University of Southern California (博士)
アメリカ在住12年



川田 牧人
Bole University (博士)
アメリカ在住20年



佐藤 研仁
Temple University (博士)
アメリカ在住4年

中学まで好きで得意だった英語なのに、高校時代に大嫌いになりました。だから宇大に入学した時も、週3回も必修の英語があると知って、「何でそんなに英語を受けなくちゃいけないの? そこまでしなくてもいいよ〜!」と思っていました。英語でなくて数学の教師になるわけだし。

ところが、いざEPUUの授業が始まってみたら、最高に楽しいクラスでした。とにかく毎時間笑いの絶えない授業で、こんなこと、今までの学校生活で初めての経験でした。先生がスゴイのです! 担当の川田先生は今33歳ですが、20年間アメリカにおられた方です。アメリカの文化についてたくさん話してくださって、日本から出たことのない私には、全ての話がとても新鮮でした。

それから発言は、難しく考えるときできないけれど、授業ではワンダレクションの曲でWやRの練習をしたり、Tongue Twister(早口言葉)でTHの練習をしたり、マライヤ・キャリーの歌を歌ったり(聴によると、振り付けをして踊ったクラスさえあったらしい)。クラス中が、とても大学生とは思えないほど大きな声で、子供のように夢中になって練習しました。

川田先生には、英語でも日本語でも気安く話しかけられます。学生食堂でたまたまお会いした時でも、アメリカの楽しい話をたくさんしていただきます。大学の先生とこんなに近い関係になれるとは思っていませんでした。

TOEICも1年で205点上がり、Honors Studentになりました! 英語大好き!!



前田 紗采

教育学部学校教育学科2年
教科教育コース数学専攻4年
(福井県立石川女子高等学校卒)



Rory Banwell

Massey University (修士)
ニュージーランド出身
日本在住23年



Steve Dooley

Liverpool John Moores University (修士)
イングランド出身
日本在住13年



Andy Henderson

University of New England (修士)
オーストラリア出身
日本在住9年



Joshua Kidd

Hawthorne University (修士)
Macquarie University (修士)
オーストラリア出身
日本在住25年



Michael McCrum

Victoria University (修士)
ニュージーランド出身
日本在住23年



Keith Rodger

University of Aberdeen (修士)
イングランド出身
日本在住12年



Garland Rollins

Louisiana State University (修士)
アメリカ出身
日本在住14年



[アシスタントコーディネーター]
Byron Benner

University of Illinois (修士)
アメリカ出身
日本在住38年



Peter Smith

Seattle University (修士)
アメリカ出身
日本在住10年



Jack Stowers

Liberty International University (修士)
アメリカ出身
日本在住10年



Luke Winn

Nottingham University (修士)
Reading University (修士)
イギリス出身
日本在住10年半



Michael Ward

University of Kansas (修士)
University of Georgia (修士)
University of Sydney (修士)
アメリカ出身
日本在住5年



[クリニックトレーナー]
Renee Gibbs

University of San Diego (修士)
アメリカ出身
日本在住17年



[クリニックトレーナー]
Rob Hazel

University of Oregon (学士)
アメリカ出身
日本在住9年



[クリニックトレーナー]
Len Newton

Indiana University (学士)
アメリカ出身
日本在住5年

E P U U の特徴 3

習熟度別授業 (ことに充実した Honors Program)

入学時のTOEIC®により、1年生は4レベルまたは5レベルに、1年修了時のTOEIC®により2年生は2レベルに分かれて授業を行います。
TOEIC®スコアが650点以上の学生(Honors Student)は、入学時より、通常の学生と異なるHonors Programにより、高度な英語力の養成に努めます。
帰国生、留学経験者、特に英語が得意な学生が、このシステムにより飛躍的に英語力を伸ばしています。

Honors Studentのための 特別プログラム 1 「Honors English」

1年生から4年生までの全学部のHonors Studentが一緒に履修する基礎教育の選択科目です。1クラス10名~15名の少人数クラスで、Academic Paperの書き方、Presentation、Discussion、Debate等、高度な英語授業を行います。



Honors Studentのための 特別プログラム 2 「English Clinic」

外国人教員より、週1回20分間、1対1の個人指導を無料で受けられるシステムです。全1年生が年間4回、授業のノルマの一部として受講しますが、特にTOEIC550点以上の学生は、学部学年にかかわらず、週1回受講の権利があります。



Honors Studentのための 特別プログラム 3 「Honors Camp」

日光の「宇都宮大学日光自然ふれあいハウス」や那須の「那須甲子青少年自然の家」において実施する英語合宿です。全学部全学年のHonors Studentが共に、2泊3日英語のみで生活をします。帰国生や留学経験者は、英語を使わない日本の生活環境のもとで忘れていた英語を思い出し、「動」を取り戻します。海外生活の経験が全くない学生も、帰国生や留学経験者の影響を受け、積極的に英語でコミュニケーションをする態度を修得します。



ポスターセッション

プレゼンテーション

スキット

ディベート

東照宮で外国人観光客にインタビュー

キャンプファイヤーでのアメリカ産マシュマロ焼き

Honors Studentのための 特別プログラム 4 飛び級制度

1年生必修のEPUU科目は全て免除し、その代わりに2年生用の必修科目(習熟度別2レベルの上のクラス)を、同一単位数履修します。



Honorsシステムを活用したプログラム Readingラボの司書

室内「日本語禁止」であるReadingラボの司書の役を、Honors Studentがアルバイトで担っています。その多くは帰国生や留学経験者ですが、全く海外経験の無い学生もいて、通常の学生に対して優れたRole Modelの役を果たしています。とても人気の高い仕事で、この司書の任に就きたいがために一生懸命勉強してHonors Studentになる学生さえいます。



僕は日本国籍ですがドイツで生まれ育ち、高校2年の時に単身来日しました。母語はドイツ語と日本語ですが、EPUUで英語も上手になりたいと思い、宇大に入学しました。

Honors Programは、本当に楽しいです！特に、Honors Studentだけで行く2泊3日の英語合宿Honors Campが素晴らしい。DebateやDiscussionや途中に寄るSightの紹介など、Camp前の準備は、ものすごく大変でした。でもその準備のおかげで、2泊3日とても楽しい英語だけの生活ができました。マレーシア人や中国人など、日本語が母語でない学生連も一緒だったので、自然に英語以外には口にしえない環境になったし、外国人留学生と親しい友人になれるのも楽しかった。

それから、Honors Studentだから、EPUUの1年生用の科目と並び、入学時から2年生用の科目を履修しています。2年生用のAdvanced Englishという科目は21種類もあって、その中から自分の好きなクラスを選べるシステムになっています。いわば、自分で自分の英語学習の計画を立てることができるのです。[2年生になったらTOEICの対策勉強に集中したいから、1年生の時に別の科目をとろう]というように。

EPUUのおかげで、高校時代より積極的に英語が使えるようになったし、外国人の先生が英語だけで講義をなさる国際学部の専門科目も、軽い気持ちで受講し楽しめるようになりました。



吉田 昌太

国際学部国際文化学科4年
(京浜東北中央高等学校卒)

EPUUのコアカリキュラム



子供の頃約7年間オランダに住み、学校は現地のBritish Schoolに通いました。ですから、宇大入学時のTOEICスコアは870点あって、最初からHonors Studentでした。Honors Campに参加してみたら、3日間の生活全てが英語でした。帰国してから3年間、全く英語を話す機会がなかったのが、British Schoolに戻ったような気がしました。落ちていた英語力が回復し、友達もたくさんできて、楽しかったです。

私は帰国生なので、他の普通の学生連と、考え方が異なると言われることが時々あります。だから普段言っている時は、あまりしゃべらないで静かにしています。Honors Englishの授業では、帰国生が多いので、それがはっきりと自分の意見を言います。私も言いたいことを言います。自分が一番「自然体」でいられる時間だと思っています。



佐藤 新菜

工学部応用化学学科4年
(京浜東北立宇都宮女子高等学校卒)

4年間ペルーに住んで、現地のAmerican Schoolを卒業しました。帰国後は英語を話す機会が極端に減って、高校時代の友達とスカイプで話すくらいになってしまい、英会話力がどんどん落ちていって無くなっていました。でも、EPUUに入ってHonors Studentになったお蔭で、状況が一変しました。Honors Englishや、飛び級で2年生用のネイティブの先生方のクラスを履修し、クリニックや授業外でも先生方と話せるようになったからです。日本語禁止で英語だけを使うアルバイト、Readingラボの司書もしています。

Advanced English I (EAP)は、専門英語入門の授業で、僕はBarwell先生担当の国際学部用のクラスを履修しています。自分の意見を頻りに求められるので、常に英語で考えて意見をまとめる必要があり、英語力の低下を防ぐには最適です。

Honors Englishでは、機だけでなく周りの学生も皆英語を話せるので、自分が浮いてしまうという不安を持たずに、積極的に取り組みます。先日は授業でdebateをしました。嫌でも話さなければならぬ環境に置かれ、一生懸命話したのが楽しかったです。初の選考もせずに存分にdebateに取り組めるなんて、本当に嬉しいと思いました。



森島 光太郎

国際学部国際社会学科1年
ペルー—International Christian School of Lima 卒)

E P U U の 特 徴 4

教材は本物の映画

映画英語を採り入れたカリキュラム

2016年度使用映画

1年生は週1回、CALLラボで映画を教材とした授業を行います。クラスの習熟度レベルに応じて3種類の映画を使用しています。「Advanced English I (Cinema English)」(全2年生選択必修)も、CALLラボでの映画を使った授業です。クラスの習熟度レベルに応じて、2種類の映画を使用します。いずれも、映画は随時変更します。



「Integrated English A」

School of Rock
(Lower Level)

Mrs. Doubtfire
(Middle Level)

I am Sam
(Upper Level)

「Advanced English I (Cinema English)」

27 Dresses
(Lower Level)

Ghost
(Upper Level)

授業アクティビティ

ただ映画を観ているだけでは、英語の習得はできません。毎時間、映画を教材にした様々な楽しい授業アクティビティが行われます。以下はその例です。

Story Telling

Identify pictures from the film's title and the scene. Use the pictures to tell a story about the scene. Write your story in a notebook. Share your story with your partner.

Dictation

Listen to the dialogue from the movie. Write the dialogue in your notebook. Check your work with your partner.

COMMENTS: ...
COMMENTATOR: ...
COMMENTS: ...
COMMENTATOR: ...

Sequencing

Watch the movie and identify the scenes. Put the scenes in order. Write the order in your notebook.

Shadowing

Write down the scenes in your notebook. Listen to the dialogue and repeat it. Write the dialogue in your notebook.

ACT: ...
DOCTOR: ...
DOCTOR: ...
DOCTOR: ...

Role Playing

Write down the scenes in your notebook. Listen to the dialogue and repeat it. Write the dialogue in your notebook.

自律学修をサポートするための施設

施設の活用は、学生が個人で行うだけでなく、通常の授業活動にも組み込まれています。



CALLラボ



DVDラボ



シアター

DVDラボのDVD人気ベスト5

- No. 1 Harry Potter series
- No. 2 Home Alone
- No. 3 The Devil Wears Prada
- No. 4 Toy Story 1
- No. 5 Back to the Future

入学時に初めて受けたTOEICで、リスニングの問題があまりにも難しすぎて、ショックを受けました。どんなに集中して目をすましてみても、何を言っているのかさっぱり訳が分からなくて、これは大変だと思いました。10ヶ月後のTOEICでは260点上がり、Honors Studentになりましたが、上昇点のかなりの部分がリスニングの向上によるものでした。

リスニング能力を上げるための学修を、苦痛でなく楽しくできたのは、EPUUの映画英語重視の方針のおかげだと思います。1年次の映画教材はSchool of Rockでした。2年の選択必修Cinema EnglishではGhostを使っています。EPUUの授業は、何の映画が教材であれ、どの先生が担当であれ、毎時間、バラエティーに富んだ様々なアクティビティーが次から次へと出てくるので、本当に楽しいのです。今僕がハマっているのは、映画の中の新出単語をRebus というゲームで学修する方法。その他、アフレコを使うRole Playing も好きです。

もともと映画は大好きだったので、DVDラボでの自習にも、結構時間を費やしました。Harry Potter やHome Aloneを好んで観、ことにHarry Potterは、全シリーズをDVDラボで観ました。その多くは、英語音声日本語字幕で観ていました。知らず知らずの間に、聞き取りの力がついたと思います。



大野 智成

教育学部学校教育実践科課程2年
(栃木県立宇都宮北高等学校卒)

映画英語 スペシャルイベント



学生が映画を観る機会を増やすため、頻りにイベントを行っています。

Movie Month

Movie Month is coming!
Do you want to work in the America on TV someday?

Please join us. Hit back and enjoy the show!!

Time: June 3rd - June 28th, 12:00 - 12:00
Weddays only

Room: EPUU Theater

Movie Night

Movie Night

Date: July 5th

Time: 6:00 pm

Place: EPUU Theater



Enjoy a movie and
chatting time in English.

Everyone is welcome.

DVDラボには、最初の頃は、空きコマに暇つぶしで観てました。Toy Storyやアニメなどを、日本語で普通に観ていました。英語が好きなのに、洋画を観る習慣がなかったのも、ちゃんと英語で観る努力はしていませんでした。ところが、英語で日本語の字幕を付けて観てみたら、これが結構面白い! いつの間にかやみつきになっていました。今ではすっかり習慣になり、1週間に2本から3本観ています。いつの間にか、字幕もつけず、英語だけで観るようになりました。たまに英語が分からず「?」と思う時もあるけれど、気にしないでそのまま観続けています。教科書で英語を読む時と、同じ単語が全く違う使われ方をしている驚くことがあります。輸出用に英語になっているジブリのような日本の映画もあるので、そのうちそういう映画も積極的に観てみようかなと思っています。意外に面白いかもしれませんね。



白井 聖香

国際学部国際文化学科4年
(岩手県立宮古高等学校卒)

E P U U の 特 徴 5

「学生目線」の英語教育

EPUUの魅力は、いつも「学生目線」に立って、プログラム運営がなされていること。

「学生は何を楽しいと感じているのか?」「勉強意欲を感じるのはどのような時なのか?」「教員に何をしたいのか?」「どんなプログラムで勉強したいのか?」…と徹底的に考え、教授法・教材開発、発行物、イベント等に、全スタッフが最大限の時間とエネルギーを費やしています。

以下の5事例も、そんな「学生目線」を意識した教育の実例です。

「学生目線」
の例

1 全学生平等に、週1回 外国人教員の授業

1年生全員平等に、週1回外国人の先生の必修授業があります。選択必修の2年次科目も、大部分が外国人教員担当です。



「学生目線」
の例

2 質問、要望は「Dear EPUU-kun」

プログラムに関する質問や要望、教員に対する質問や要望、英語の学習法に関する質問等、学生は、EPUUのマスコット、カメレオンのEPUU君が座っている「Dear EPUU-kun」の箱に、自由に投稿していきます。授業担当の先生に直接言えない要望も、無記名で投稿するのであれば、遠慮なくできます。



「学生目線」
の例

3 EPUUのオリジナル教科書

PATHWAYS

EPUUでの学修を開始するにあたって、修得すべき必須事項を学ぶ教科書です。全体を通して、「自校教育」「自プログラム教育」を重視しています。



Ace

専門英語入門の教材シリーズです。International Studies、Education、Engineering、Agricultureの4冊あります。



Culture Shock

EPUU教員全員がそれぞれ書いた「私の異文化体験」を、プロのイラストレーターが漫画にしました。授業中の楽しみなアクティビティー教材として、1年生全員が使用しています。



「学生目録」
の例

4 「英語学習強調週間」

各学期1回ずつ「英語学習強調週間」が行われます。通称「EPUU祭り」、通常の授業と異なる数クラス合同の授業は、様々な方法で英語学習の楽しさを感じられるように工夫されています。1、2年の授業が、このプログラムに振り替えられます。学生が一番人気は、12人の外国人の先生方（アメリカ人、イギリス人、オーストラリア人、ニュージーランド人）が次々とマイクを持って異文化紹介を繰り広げる「Variety Talk」です。



Variety Talk



EPUUの授業も教材もイベントも新聞も掲示板も... 何れもかも、楽しいものばかりでした。入学前はあまり英語が得意ではなかったのですが、受け身でなく参加型のプログラムによって、英語への興味・関心が深まり、真剣に取り組むようになりました。あまりに英語の学習意欲を刺激されたものから、2年次にフロリダ大学に留学し、帰国後、他学部から国際学部に移籍しました。EPUUに人生を変えられたと思っています。

村上 泰貴 農学部国際文化学科3年
(鹿児島県立八戸東高等学校出身)



「学生目録」
の例

5 プログラム機関紙 EPUU TIMES

EPUUに関する情報を発信するため、年に3回、機関紙 EPUU TIMES を発行し、全EPUU生に配布しています。学生は、EPUUや宇都宮大学に関する記事を、英語であることをあまり意識せずに興味を持って読むことにより、効果的に読解多読の訓練をしています。



「英語学習強調週間」の週はEPUUの授業が振替になります。Variety Talkでは、全てのネイティブの先生方が総動員で、パワポを使ったプレゼンをしてくださいました。今年は前期のトピックがMy Hometown、後期がTraveling Abroadでした。どの先生もプレゼンがとても上手で、ジョークを交えた楽しい話を聴かせてくださいました。農学部や工学部用には、理系英語の導入もあります。私には特に化学の講義が役立ちました。全部英語での講義で、「原子」とか「中性子」とか、こういう単語は専門科目で使うから、英語でも覚えておいた方がいいですよ!と先生がおっしゃいましたが、本当に後で農学部の授業に出て来たので、嬉しかったです。

長谷部 貴子 農学部応用生命化学科4年
(東京都・私立国際基督教大学出身)





国立大学法人
宇都宮大学
基盤教育センター

English Program of Utsunomiya University (EPUU)

プログラムに関するお問い合わせ先 / 〒321-8505 栃木県宇都宮市碑町350 宇都宮大学基盤教育センター 電話 028-649-5091